

# ふかまのまど

第一五〇号 〇六年十一月一日  
発行元 深町町内会連合会  
連絡所 六三三三八二

## 町内会連合会活動報告

### 第二回三原市民体育大会

体育部長 中村 純

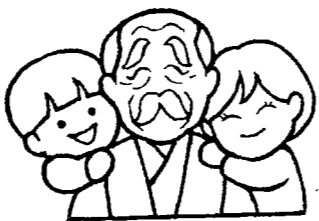
十月八日(日)、三原運動公園で市民体育大会が開催されました。今年度はCクラス(七地区代表)として出場しましたが、成績は第四位でした。大会当日は天気もよく選手の皆様も各競技に全力をあげて奮闘しました。選手、役員、応援の皆様大変ご苦労様でした。



来年は、深町単独で出場出来るかどうか解りませんが、代表者会議に意見を持って行きたいと思っております。(例えば、競技種目は長年同じ事をしていて)ご意見、お気付きの事がありましたらご連絡下さい。よろしくお願い致します。

### 第十七回はなみずきふれあいサロン開催

林 一恵



日時 十一月十八日(土)  
一〇・三〇〇〜一四・〇〇  
場所 深町民会館  
参加者 今年度敬老会招待を  
いただいた方  
参加費用 三〇〇円  
(当日いただきます)

内容 皆さんと一緒に懐かしい歌、元気体操、ゲーム、工作等を行います。昼食は協力会員の皆様が手作りのお弁当をご用意いたします。お誘いあつておい下さい。

参加申し込み方法及び締切日  
上組 林一恵  
(63-3983)へ  
お電話下さい  
締切日 十一月十四日

## 子ども会だより

### ☆ソフトボール三位入賞 ☆キックベースボール 決勝トーナメント進出

子ども会会長 小川和彦

今年も六年生が千川神社秋季大祭において、多数ご参拝頂いた中、太鼓踊りを奉納いたしました。七人の子ども達は、壮年会の方々のご指導とご協力を頂き元気一杯踊りました。また、「三原市子ども会球技大会」が行われ、子ども達の発声刺としたプレーに拍手と喚声が響き渡っていました。  
ソフトボールチームは堂々の三位入賞を果たし、キックベースボールチームも予選リーグを突破し、決勝トーナメントへ進出しました。



### ◇第十九回三原市子ども会球技大会(九月二四日)

○ソフトボール  
二回戦 深町8-0沼田東  
準決勝 深町0-1北方

○キックベースボール  
予選リーグ  
深町42-6久井小  
深町4-28羽和泉  
決勝トーナメント  
深町2-35小泉

## 千川神社よりお礼

千川神社責任役員 西本 一二三

十月十四日、千川神社秋の祭典にあたり町内の皆様方にお初穂をお願いし、ご理解を頂き、お陰をもちまして盛大に祭りを執り行うことが出来ました。総代役員一同厚くお礼申し上げます。

今年は大和町安国寺から金川太夫が来られ式典を執り行いました。式典には深小学校六年生全員が参列されサカキを奉納された後、太鼓踊りを奉納されました。神楽奉納にいたしましたも大勢の方が最後まで観覧されましたこと、役員一同深く感謝しております。

なお、尚寿会の皆様方に神社の清掃を手伝って頂きましたこと、厚くお礼申し上げます。

## 親子ふれあい読書タイム

中組 増田 敬子

今年度PTA副会長をさせて頂いておられます、増田です。よろしくお願致します。深町に移り住み六年目を迎えました。地域の皆様方には、深小の子供達を暖かく見守って下さり、ありがとうございます。自然に恵まれた環境で四季の移りかわりを肌で感じながら生活しております。



私は子供がそれぞれ一年生頃まで、昼寝前や就寝前に絵本を読んでいた。市の図書館で借りた絵本や、我が家のお気に入りのものを、一、二冊読めば納得して寝ていました。私も絵本なら文章も長くないので、苦になりませんでした。ところが、就学前頃になると児童書を借りるようになり、就寝前には読みきれなくなりました。「今日はここまで。続きは明日ね。」が、おやすみの挨拶がわりになりました。

読む量が多くなるにつれ、私がちよつとずつ負担を感じるようになり、いつの間にか、「親子ふれあい絵本タイム」は、なくなりました。そして、子供達も本から少しづつ遠ざかっていきました。

季節は、秋。私は最近、読書をするようになりました。本に夢中になっている私の姿を見て、子供達が本の楽しさを思い出し、今度は、「親子ふれあい読書タイム」がもたらえたいと思っております。

## 短歌・俳句・詩

中組 仲峠講 竹内ひろみつ

黒揚羽くろあげはいなるかや舞い舞いて  
たけなわの秋稲穂重たげ  
生き生きて浮き世の裏や表やら  
今だ極めぬ夢多く有り  
テレビから  
ルビーの指輪流れ来て  
子育ての頃を妻と語り居る

## 深町各種団体十一月行事予定

- ◆町内会連合会
  - ▼ターゲットバードゴルフ 大会参加 十九日
  - ◆中組町内会
    - ▼親睦旅行 十二日
  - ◆小学校・幼稚園
    - ▼地域参観日・教育講演会 六日
    - ▼集金日 七日
    - ▼保健指導・体重測定・集金 九日
    - ▼貯金日・英語活動 十日
    - ▼英語活動 二四日
    - ▼学習発表会 二六日
    - ▼スクールガードリーダー 来校 二八日
    - ▼お楽しみ会 三十日
  - ◆如水館中学・高校
    - ▼校内球技大会 二日
    - ▼中学・高校入試説明会五日
    - ▼中学校文化行事 二三日

## 展望席

晩秋をむかえ、秋の夜長に読書に耽っている人もおられるでしょう。気の早い人は年賀状の準備をされているかもしれません。深小同級生のTさんは、毛筆のとてもきれいで丁寧な字で書いた年賀状をくれます。昨年、深小の同級生でクラス会をしたとき、同級生のみならずTさんは字が上手じゃね、小学校のとき、こんなにきれいな字を書きようたかね?と異口同音に言いました。Tさんが字を書くのが上手だったという記憶は誰にもありませんでした。そのTさんは、証券会社に入社したとき、上司から「T君、こんな字を書いていたらんじや、会社を辞めてもらわんと」と言われ、会社を辞めさせられたくないTさんは発奮、一念発起し、会社から帰宅するとすぐさま字を書く練習の毎日。そうして今のようになきれいな字が書けるようになったのだと言います。字の上手下手は天性のものと思っていました。努力すれば上手くなるのだということとをTさんの話から実感しました。

著名人の講演では、その話には感動するもの、自分にとつては雲の上の人であり、それはその人だからできることであつて、自分には無理という気持ちがある。自分には無理です。それよりも身近なTさんの話で、「自分でも努力すればできる、磨けば光ってくる」という自信も湧いてきました。  
「玉磨かざれば光なし」、中高年の私達もその年齢に埋没することなく、更に我が身や何処かに隠れている玉を磨いて光り輝く人生としたいものです。

二十一章 失敗を超えて

平成四年九月二十三日のハブ... 深町の歴史は、この日から始まる。...

二十二章 慌ただしく動く

すでに十六歳で述べたように... 深町の未来は、この日から始まる。...

平成四年十月九日、全員協議... 深町の未来は、この日から始まる。...

戦時中の思い出(十二)

中組 高崎 壽郎

おそかった終戦

今、戦時中、野球は大人気です... 終戦の瞬間、誰もが涙を流した。...

十月十三日、第一回役委員会... 深町の未来は、この日から始まる。...

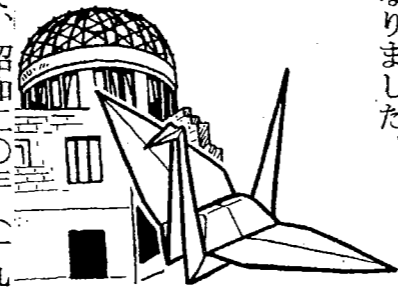
十月二十四日、第二回委員会... 深町の未来は、この日から始まる。...



二十三章 申し入れ事項

- ① 造成工事に関する... ② 深町協会の... ③ 学説の... ④ 自然環境の...

国民学校の六年以外は、... 深町の未来は、この日から始まる。...

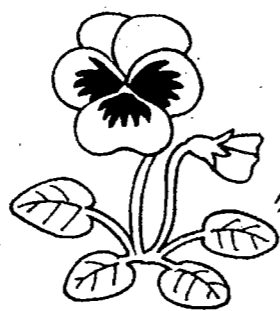


八月十日、尾道が... 深町の未来は、この日から始まる。...

- ① 山中学園の深町移転... ② 県道尾道三原線補修改良工... ③ 歩道の整備... ④ 信号機、横断歩道の整備... ⑤ 公共交通機関(バス)の増便... ⑥ 必要ある時は地元と連携...

この契約、及び今後結ぶ契... 深町の未来は、この日から始まる。...

ハウスの中は



店頭には秋の味覚の物で... 深町の未来は、この日から始まる。...

深町協会は、山中学園の... 深町の未来は、この日から始まる。...

幸せな人

(元 中組) 坪見 博文

以前ラジオで「幸せな人は目... 深町の未来は、この日から始まる。...



又、入社試験なし、面接なし... 深町の未来は、この日から始まる。...

お詫びと訂正

七月一日発行の「ふかまの... 深町の未来は、この日から始まる。...

誤 中学生になつて... 深町の未来は、この日から始まる。...

### 修学旅行にいきました

9月14(木)・15日(金)の2日間、6年生7名が修学旅行にいってきました。

1日目は京都の二条城、金閣寺、清水寺、奈良の東大寺を見学し奈良に泊まりました。2日目は、奈良の法隆寺を見学した後、大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンにいきました。グループ行動で楽しいときを過ごしたあと三原に帰りましたが、楽しい思い出がたくさん出来たようです。



### 広々とした二条城

村井 寛太

「二条城は、どんなお城なんだろう。うぐいす張りってどんな音がするんだろう。」と、ぼくは、わくわくしながら、バスを降りました。

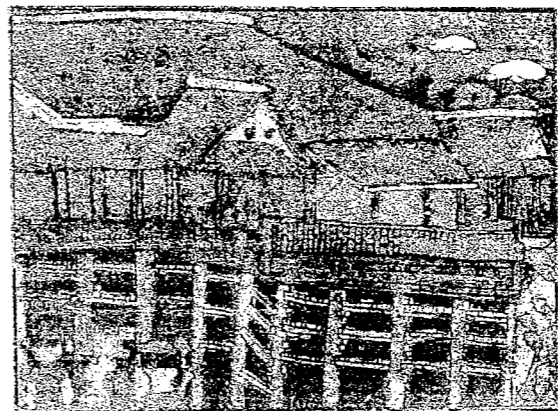
目の前の二条城は、さすが徳川家康が建てただけあって、とても広くてりっぱでした。中に入って廊下を歩くと「キュッ、キュッ。」

という音がしたので、びっくりしました。それは、想像していた以上に、きれいな音だったからです。何百年も前の建物だったので、古くなって板が鳴るようになったのかと思っていたら、くぎがさしてあって、人が通るとその重さで音が出る仕組みになっていて、音が分かりました。

### じょうぶな造りの清水寺

小林 健人

「修学旅行どこに行きたい。」と母に聞かれて、「清水寺。」と答えたほど、ぼくは、清水寺に行くのがとても楽しみでした。行く前は、音羽の滝の水が飲みたいだけだったけど、清水の舞台の構造を見て感動しました。



清水寺



二条城

その、うぐいす張りの廊下を進んでいくと、いくつもの部屋がありました。ふすまには、十一メートルもある松や鷹の絵が

釘を一本も使わずに木だけを使って組み立てているのに、とてもしつかりと立っていて、どんな災害がきても倒れそうにありませんでした。ガイドさんが、「阪神大震災の時も、びくともしなかつたそうです。」と見学前に教えてくれていました。最初は、その言葉を疑っていたけど、実物を見てなるほどなど納得しました。

「清水の舞台からとび降りる」という言葉が思いきったことをする時に使われているので、どんな高さかと思つて下を見ると二十メートルぐらいあってこわかったです。舞台の上からながめる京都の街は、とても広く感じました。清水寺に来る前に行った二条城や京都タワーが、手の平に乗るぐらい小さく見えませんでした。

次に、音羽の滝で、水を飲みました。ぼくは、三つある水の中から、学問の水を飲むことを最初から決めていました。かしくなれるように、これからもたくさん勉強をしていきたいです。

最後に、清水寺の下の坂でお土産を買いました。お店が三十軒以上もあって、何を買おうか迷つて試食ばかりしていたけど、結局、京都の名物の八ツ橋やとうがらしを買つて帰りました。

京都や奈良で、いろいろなお城やお寺を見て回ったけど、清水寺がやっぱり一番よかったです。

『舞台から 下をのぞいて 足すくむ』

細かな所まで描かれていて、今にも動き出しそうでした。江戸時代に、この二条城で、徳川家の将軍や大名たちが、いろいろな話し合いをしていたと思うと、ずつと昔にタイムスリップしたみたいで楽しかったです。でも、ぼくがここに住んだら、広すぎて迷いそうだなと思いました。次に、二の丸庭園に行きました。池があつたり松やいろいろな木が植えられていたりして、とてもきれいな庭でした。外国からの観光客もたくさん来ていました。いろんな国の人たちが、日本の文化を学びに来ていることが分かりました。でも、残念なことには、壁に落書きをしている所がありました。もっと日本の文化を大切にしていかなければいけないなと思いました。

『二条城 こんなお城に住みたいな』

### うぐいすが鳴く二条城

前田 孝尚

「キュッ、キュッ。」と、歩くたびに音が鳴ることで有名な二条城に、修学旅行で行きました。

二条城は、徳川家康が江戸幕府を開く時に建てた平城で、京都の中心地にあります。入り口にある門だけでもりっぱで、バスを縦に立てたぐらいの高さがありました。

パンフレットには、二条城は四百年以上の歴史があると書いてあつたので、うぐいす張りは、もう鳴らなくなっているんじゃないのかなと心配でした。でも実際に歩いてみると、「キュッ、キュッ。」

と確かに音が出ているのが分かつたので嬉しかったです。このうぐいす張りは、お城に敵が入つて来た時、すぐ分かるように、音を出すように造つたそうです。良く考えたなと思いました。



二条城

少し歩くと、一つ目の部屋がありました。その部屋は、書院造りで、水ぼう画のふすまがありました。奥に進むにつれて、部屋が広くなり、ふすまの絵もごうかになっていました。部屋には、人形が置いてあつて、当時の将軍や大名たちの様子を再現してありました。将軍は、一段高い所に座り、大名たちは頭を下げていました。そして、将軍に近づくとつれて着ている服がごうかになっていくことから、将軍に近いほど権力を持つていたことがはつきり分かりました。また、この二条城では、政權を将軍から天皇に返す式が行われたというのを後で勉強しました。江戸から明治に、大きく時代が動いた重要なお城だったんだなと思いました。

『江戸時代 終わりをつげた 二条城』

# ピカピカ光る金閣寺

伊藤 光佑

ぼくが修学旅行でいきたいなあと思っていたのは、金閣寺です。なぜ楽しみにしていたかという、社会の勉強で、金閣寺には金づくが大量にはってあると知ったので、どんなにきれいか見てみたいと思ったからです。金閣寺の入り口で一人一人がお札をもらいました。中にはお札をおでこにはって、「キョんシーじや、キョんシーじや。」と言つて遊んでいる人もいました。少し歩くとすぐに金閣寺が見えてきました。



### 金閣寺

金閣寺は、一三九七年に足利義満が建てた山荘です。今のお金にする約六百億円もかけて造られたそうです。通常の五倍の厚さの金づくがはられていて、とてもごうかまぶしいぐらゐの輝きなんだと思ひました。最後に夕佳亭に行きました。夕佳亭は、正面の床柱が南天の木でできているので、有名です。

「やっぱり写真で見るとよりきれいなあ。」と、ぼくは、しばらくの間、金閣寺の美しさに見とれていました。金閣寺のてっぺんには、中国ではめでたい鳥として伝えられている鳳凰が乗せてありました。水面を見ると、金閣寺が逆さに映っていました。「普通に見る金閣寺もきれいだけど、水面にうつる金閣寺も輝いてすばらしいなあ。」と思いました。

# とても大きな大仏

小川 由祐

ぼくは、東大寺の大仏を見るのが、とても楽しみでした。東大寺に行くまでに、二条城や金閣寺や清水寺など、たくさんのお寺を見学してきて、「さすが京都だな」と思いました。奈良に移動して東大寺に着くと、まず大きな仁王門がありました。門の左右には、あきやうとうんぎやうの像が立っています。体がでかくてこわい顔をしていたので、とても迫力がありました。



その門をくぐって歩いて行くと大仏殿が見えてきたので、「早く大仏にあいたいなあ。」と思ひながら中に入りました。すると突然目の前に、今まで見たことのないほど大きくてりっぱな大仏が現れたので、ぼくは、びっくりしました。

行って正面の柱を見てみると南天の木がくねくねしていてもしるかったです。修学旅行に行つてみて、やっぱり家族といっしょに旅行に行くよりも、友だちといっしょに旅行に行つたほうが、とても楽しいなあと思ひました。みんなとの忘れられない思い出がたくさんできました。

『ピカピカと光る金閣』

まぶしいなあ

▲▲

奈良の大仏は、聖武天皇が乱れた世の中を仏教で救うために造られた、世界で一番大きな金属でできた仏像です。今のようにな、すぐれた機械がない時代に二百万人をこえる人々が働いて、九年もかかって造られたと聞いて、「すごく大変だったろうなあ。」と思ひました。大仏の鼻と同じ大きさの穴の柱も、一人ずつくぐり、大仏の大きさを改めて感じました。

大仏殿のまわりには、シカがたくさんいて、ぼくたちがえさをやると、すぐにたくさん集まってきました。せんべいを頭の上に乗っていると、シカはちゃんとおじぎをしてくれました。

ぼくは、シカがおじぎをするのを初めて見ておどろきました。何度もおじぎをするシカがいて、えさは、あつという間になくなってしまいました。よほどおなかがいっぱいだったんだなと思ひました。

# 奈良の大仏

東大寺はとても大きくて、大仏もりっぱだったので、また機会があつたら行つてみたいです。

『東大寺 大きい大仏』

そびえたつ

▲▲

# 美しく光っていた金閣寺

田代 万桜

私が修学旅行で一番心に残つたのは、金閣寺です。写真などでは見たことはあつたけど、実際には見たことはありませんでした。それに、たくさんのお金づくがはってあると聞いて、「陽の光とかにあたると、きつとピカピカ光つてきれいなんだろうなあ。」と、とても楽しみに思ひました。



### 金閣寺

「鯉魚石」や「白蛇の塚」「夕佳亭」などを見て回りました。その中で一番すごいなと思つたのは、夕佳亭の正面にある床柱です。あまり柱に使われることのない南天の木が使われていたからです。南天の柱は、くねくねと曲がついておもしろい形をしていました。

修学旅行では、自分が見たかった金閣寺をみる事ができたのでよかったです。他にも、いろいろなお寺を見学して、建て

『黄金に美しく光る金閣寺』

▲▲

# 驚きいっぱい法隆寺

斎藤 達也

ぼくが、修学旅行で一番心に残つたのは、聖徳太子が建てた法隆寺です。法隆寺は、世界最古の木造建築として、世界遺産に登録されています。でも、実際に歩いてみると、千四百年もたつているとは思えないほど、堂々とした建物でした。



# 法隆寺

法隆寺では、驚いたことや勉強になることがいっぱいあつたけど、五重の塔が一番よかったです。

『仏像に願いをこめて手を合わせる』

▲▲

※ 感想文の挿絵は、各児童の木版画(多色刷り)を「ピカピカ」にしたものです。